

新年のごあいさつ

坂東市長

吉原 英一



明けましておめでとうございます。市民の皆様には、健やかに清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は市政運営に深いご理解ならびに温かいご支援とご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

本年も市民の皆様が安全安心に、そして笑顔あふれる生活ができますよう、活力あるまちづくりに取り組んでまいります。

昨年は、郷土の英雄平将門公生誕1111年という記念すべき年でした。将門公はこの坂東の地に新しい「くに」を作るため、自ら「新皇」と称し既存勢力に立ち向かったといま

す。鉄を積極的に生産し武具や農具の改良に努め、軍事力の拡大や大規模な耕地の開墾に成果を発揮し、現在の実り豊かな大地を築く基礎を作りました。このような偉大な将門公の功績を再確認するとともに、「坂東の地」の今を生きる皆様の活力を広く全国に発信するため記念事業を行ってまいりました。

小学1年生から79歳までの皆様1777人に参加していただいた88時間ソフトボール大会では、見事日本記録を達成することができました。改めまして皆様のご協力に感謝申し上げます。また、小中学生の検定取得率日本一への挑戦では1900人が挑戦し、飛び級合格者が148人、複数合格者が609人と成果が上がっております。今後も、子どもたちの学習意欲を高めるとともに学力向上を目指し取り組んでまいります。全国各地で集中豪雨や竜巻による大きな被害が発生し、防災管理について改めて考えさせられた年でもありました。河川の氾濫に備え、いち早く避難するための目安となる標高を表示したステッカーの設置や、利

根川の氾濫を想定した住民説明会の開催、県西11市町やトラック協会県西支部との応援協定の締結など、これからも災害に強いまちづくりを推進してまいります。また、本年着工予定の新庁舎につきましても免震構造を採用し、災害発生時には防災の拠点として機能維持できる設備を整備するよう設計作業を行っております。

子育て支援施策に関しましては、安心して子育てができるよう各種支援施設の整備を進めております。成長や発達に心配のあるお子さんの療育や相談を行う施設、こども発達センター「つくし」を開所いたしました。今後も受入体制の拡充や内容の充実を進めてまいります。また、地域ぐるみで支援を行い、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園「ふたば」を4月に開園します。さらに、産科・産婦人科医師の養成、開業を支援するため、医学生への奨学金や医師への開業資金の貸付を行い、子育てしやすいまちづくりを進めてまいります。

中心市街地活性化施策としましては、旧大塚酒造跡地の歴史的建造物の活用を図り集客型観光施設として整備を目指しております。琉球ガラ

ス工芸協業組合との包括的連携協定締結により、坂東市の新たな特産品となる工芸品の開発を目指し、人材育成や施設整備を進めてまいります。また、ねぎの産地として名高い17市町が集まり「全国ねぎサミット」が開催され、ねぎの消費拡大のPRや産地間の交流などを行い、産地の発展と安全安心な野菜を食卓に届けることを誓い合いました。今後も、ばらなど野菜のブランド化や全国へのPRを図るなど、農業の振興に取り組んでまいります。

市の財政事情は依然として厳しい状況にあります。これからも、圏央道インターチェンジ周辺の工業団地整備や企業誘致による雇用の創出、子育て支援、教育、福祉の充実、農工商工業の活性化など、次代を担う子どもたちが夢と希望に満ちた活力あふれる明るいまちづくりに、責任を持つて取り組んでまいりますので、さらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、平成26年が明るく希望に満ちた年となりますことを念願いたしますとともに、市民の皆様の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。